



東燃ゼネラル石油(株)千葉工場 【2017年上期ニュースレター】



1. 新年のご挨拶

町会の皆さま、明けましておめでとうございます。旧年中のご高配に深謝申し上げますと共に、本年も東燃ゼネラル石油(株)千葉工場を宜しくお願い申し上げます。新年を迎えるにあたり、近隣の町会を代表して今津朝山宿町会長の青木千秋様より、新年のご挨拶を頂きました。

日頃は当工場の操業につきまして、皆さま方から温かいご理解と多大なご協力を賜りまして、改めて心より厚くお礼を申し上げます。最近の千葉工場内でのトピックスを中心としたTGニュースレター「ICHIBAN」第3号をお届けしますので、是非ともご高覧頂ければ幸いです。

なお、今回より弊誌名を「ICHIBAN」といたしました。千葉工場従業員から募集した中から選ばれたもので、地元「千葉」に因み、また「何でも一番、地域密着も一番」を目指して命名されました。ご愛顧のほどよろしくお願いいたします。



今津朝山宿町会長
青木 千秋 様

あけましておめでとうございます。近隣町会を代表しまして新年のあいさつをさせていただきます。

東燃ゼネラル石油株式会社様には、常日頃より私ども近隣町会に対して、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年は、アメリカ合衆国の大統領選挙において共和党のトランプ氏が次期大統領に決定しました。共和党政権の発足により日米間においてもTPPや経済面等に影響が及んでおります。

また、ロシアとの間では、北方領土返還問題については、難航しております。景気においては、ゆるりと上昇しております。

また、近年人口が急増している千種地区には、五井地区と姉崎地区とのほさまにあり、千種地区一本化が重要課題となっております。

貴社をはじめ近隣企業と近隣町会は、密接な関係をもちながら、地域住民が安全で安心な住環境づくりに取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴社の新規事業の進展及び既存事業の益々の発展、従業員のご健康とご多幸を祈念して新年のあいさつといたします。



謹んで新年のお慶びを申し上げます。千葉工場長の柿木でございます。皆さまよき新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

今年、千葉工場は、3月から4月にかけてほぼすべての装置を停止し、定期整備工事いわゆる「定修」を行います。本工事は工事期間中に実施する各装置の更新を利用して、装置信頼性の向上を目的とします。「安全は全てに優先する！」をモットーに「無事故、無災害、無公害」の“三無”で工事を完遂する事を最大の目標とし、全工場一丸となって取り組む所存でございますので、地域住民の皆さまにおかれましては変わらぬご理解・ご協力をお願い致します。

また千葉工場は今後新規大型プロジェクトを推進してまいります。地域の皆さまと共存するために環境、健康、教育など多岐にわたって地域の社会貢献活動に取り組んでおり、これらを通じて地元町会の皆様と円滑なコミュニケーションをはかり、交流の輪を広げて参りたいと思っておりますので、引続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

皆さまのご健康とご多幸をお祈りして、新年の挨拶とさせていただきます。

執行役員・工場長 柿木 寿

2. 近隣 14 町会長の皆さまとの年末懇談会



当工場では、毎年5月と12月の年2回、近隣14町会（北青柳、青柳台、西青柳、宿、三ヶ郷、内出、千種 1・2 丁目、千種 3・4 丁目、松ヶ島、松ヶ島ニュータウン、出津、玉前、岩崎、五井西）の町会長の皆さまにご来場頂き、約半年間の当工場の操業状況等についてご説明するとともに、町会長の皆さまから、日頃お感じになっているご意見・ご質問をお聞かせいただく事を目的として、懇談会を開催しております。

今回は12月14日(水)に、13名の町会長さまに、ご多忙の中、当工場技術センター会議室までお越し頂きました。懇談会では、工場長の柿木から石油業界及び当社の現況について、設備管理部長の谷本から4年に一度の大型定期整備工事について、更に、市原火力発電の坂井から発電所の建設計画についてそれぞれ説明を行いました。その後、町会長の皆さまより活発なご質問、貴重なご意見が出され、当工場の安全操業に関して具体的かつ極めて深いご関心をお示し頂き、また当工場の将来像に対する熱いご期待もお寄せ頂きました。

3. 「劇団風の子」千種小学校公演会



昨年の京葉小学校に引き続き、12月1日千種小学校体育館において、児童の皆さんを対象に、東燃ゼネラル児童文化賞受賞「劇団風の子」による「くまの子ウーフ」の公演会を開催しました。公演会には、千種小学校全児童および教職員の皆さん、来賓として市原市教育委員会の方、千種中学校の鶴岡校長先生をお迎えし、約900名が集まりました。会場の都合で午前と午後の2回公演となりましたが、どちらも劇団員5名による劇が始まるとユーモラスな演技に笑いとお声援が絶えませんでした。また公演会に先立ち、柿木工場長から、本年度の東燃ゼネラル児童文化賞受賞者、児童文学作家あまんきみこさんの直筆サインが入った「ちいちゃんのかげおくり」を林校長先生に贈呈されました。

劇団風の子とは

劇団風の子は、1950年、戦後の東京の焼け野原の中で、子ども会や子ども文庫の活動をしていた多田徹を中心とする若者たちによってはじめられました。「日本の未来を考えることは、これからの日本の子どものことを考えること」を活動の基点とし、「子どものいるとどこへでも、を合言葉に、百数十名の劇団員がいくつかの班にわかれ、北海道から沖縄まで、全国の幼稚園、保育園、児童館、小学校、中学校、高校、そして子ども・おやこ劇場など、文字どおり子どものいるとどこへでも出かけて行って公演を続けてきました。(劇団風の子 HP より抜粋)

4. 千葉工場新年行事



1月4日、新春恒例の千葉工場賀詞交歓会が開催され、協力会社の大勢の皆さまがご来場されました。その後開催された出初式では、環境安全課員が日頃の訓練の成果を披露しました。また、地元大宮神社で工場長の柿木以下工場幹部による正式参拝が行われ、今年一年間の安全操業と定期整備工事の無事故完遂を祈願しました。

5. 定期整備工事について

千葉工場では、定期整備工事が、**2月22日(水)～4月24日(月)**の約2か月間の予定で実施されます。装置の運転停止作業並びに整備終了後の運転開始作業時に、弊社煙突より長炎の発生する事が予想されますが、事象発生が最小限となるよう万全の体制を整え臨む所存です。地域住民の皆さまのご理解・ご協力をお願い致します。なお、詳細な情報は別途町会の回覧板を通じてお知らせ致します。

《お願い》 当工場では「安全操業」を基本として、地域の皆さまにご迷惑をお掛けすることの無いように日々操業しておりますが、何かお気づきの事がございましたら誠に恐れ入りますが、右記までご連絡を頂きますようお願い申し上げます。

平日 昼間：総務課 23-9580

夜間/休日：宿日直室 23-9370